RIDA スクリーン FAST オクラトキシン A

【商品コード:4122PF】

穀物および飼料の中のオクラトキシン A の定量分析のための競合酵素免疫測定法

オクラトキシンAは *Aspergillus*、*Penicillium* 属菌が産生するカビ毒で、著しい腎臓への毒性のほか、肝臓への毒性、催奇形性、発ガン性、免疫抑制性などの性質があります。
人の健康へのリスクは、植物性の汚染食品の摂取のみならず、動物性食品からもあります。
オクラトキシン A は、ヒトの血液および母乳と同様に、ブタの血液および腎臓でも検出されます。オクラトキシン A 汚染として高頻度に発生している率(豚血液：60%、穀物：13%、ブタの腎臓：21%)は、深刻な健康リスクにあることを示唆しています。

規格及び試験方法

·フォーマット:

48 ウェル(それぞれ 8 つのウェルを持つ 6 本のストリップ)のマイクロタイタープレート

· 標準液:

0、5、10、20、40 μg/kg (ppb)

· 試料調製:

穀類、飼料:破砕、メタノール／水抽出、ろ過、希釈

·インキュベーション時間:

15 分

·検出限界(LOD):

5 μg/kg (ppb)

関連製品:

·オクラプレップ【50 本入:4126P、10 本入:4125P】※生コーヒー豆、ワイン、ドライフルーツなど。
·オクラトキシンクリーンアップカラム【4128PC】
·RIDA スクリーン オクラトキシン A【4121P】

★取扱説明書、試料調製、その他 資料ご希望の方は、ご遠慮なくアヅマックス㈱にお申し出ください。

r-biopharm
アヅマックス株式会社
http://www.azmax.co.jp/
E-mail : sales@azmax.co.jp

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312

RIDA スクリーン FAST オクラトキシン A

【商品コード：4122PF】

抽出、濾過と試験の手順

(注 ： ストリップ 4 本以上を一度に使用しないでください。)

① 破砕した試料 5g を量り採り、12.5 mL の 70%メタノール液を加え、3 分間激しく振とう。
試料抽出液をろ過。
得られた濾液 1mL に蒸留水 1mL を加えて希釈。
ウェル当たり 50 μ L の希釈液を使用。

② 試験するのに十分な数の標準および試料用のウェルをフレームに挿入。

③ 標準液および調製された試料液各 50 μ L を
それぞれ別のウェルに 50 μ L ずつピペットで滴下。
各標準液および試料液で別々の新しいピペットチップを使用。

④ 酵素複合体液(赤キャップ)を各ウェルに 50 μ L 加える。

⑤ オクラトキシン A 抗体液(黒キャップ)を各ウェルに 50 μ L 加える。
10 分間、室温でインキュベート。

⑥ ウェル中の液体を捨て、マイクロタイターストリップをフレームに入れたまま吸水紙
(ペーパータオルなど)に 3 回連続して叩きつけ、ウェルの液体をよく除く。
すべてのウェルに 250 μ L の洗浄バッファーを満たし、同様に液体を捨て、
吸水紙に叩きつけ液体を除く。この操作を2回以上繰り返す。

⑦ 基質/色原体(茶色キャップ)を各ウェルに 100 μ L 加える。
5分間、室温(暗所)でインキュベート。

⑧ 反応停止液(黄色キャップ) を各ウェルに 100 μ L 加える。
よく混合して、エアーブランクで 450 nm の吸光度を測定。

r-biopharm
アヅマックス株式会社
http://www.azmax.co.jp/
E-mail : sales@azmax.co.jp

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312